

平成30年第1回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
3月6日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	淵 瀬 栄 子 議員	2
	3	3	清 水 正 明 議員	3
	4	4	平 井 満 洋 議員	5
3月7日(水)	5	1	朝 長 隆 洋 議員	6
	6	2	小 嶋 俊 樹 議員	8
	7	3	内 野 繁 樹 議員	8
	8	4	永 田 良 一 議員	9
3月8日(木)	9	1	田 川 正 毅 議員	10
	10	2	杉 山 誠 治 議員	11
	11	3	浅 田 直 幸 議員	12
	12	4	戸 浦 善 彦 議員	12
3月9日(金)	13	1	中 里 悟 議員	13
	14	2	田 崎 耕 太 議員	14

1. 岩本利雄議員

質問事項 1

人口増対策について

質問の要旨

本市は、平成 28 年度に第 2 次西海市総合計画を策定し、平成 29 年度から向こう 10 年間を実施期間とし、「活躍のまち さいかい ～みんなで目指す人口 30,000 人～」の実現を目指している。

急速な人口減少に歯止めをかけ、人口増加に転じる対策について目標を定めて実行し、かつ確実な成果を出していかなければならない。

そこで人口増加対策の重要施策である次の企業誘致にかかる雇用と定住について、市長の見解を伺う。

- (1) 西彼町風早地区工業団地（パールテクノ西海）の第一期工事分譲完了目標期限は、平成 29 年度となっているが、現在約半分（2.3ha）が売れ残っている。分譲にかかる申込件数や交渉等はどのような状況にあるのか。

また、今年度に分譲を完了できないとすれば、次の分譲完了目標期限はいつか。

- (2) 大島地区工業団地の造成工事は、予定通りの進捗状況だと聞いている。そこに大島造船所と関連企業が進出してくれば、400～500 人規模の雇用が生まれるとの報道がなされている。そのことは本市の人口増対策にとって絶好の機会である。市長は、この好機を 100%ものにするために、どのように取り組んでいこうと考えているのか。

質問事項 2

地域活性化策について

質問の要旨

合併後 13 年目を迎えているが、「合併してもちっとも良くならない」との地域住民の声を聴く。合併効果はまだまだ先のこともかもしれないが、地域住民の閉そく感を少しでも払拭してやる必要があるのではないかと考えている。

そこで、地域活性化策に関する次の点について市長の見解を伺う。

- (1) 基金残高は、170 億円を超えて合併当初の 3 倍以上になっている。今後の財政状況を考慮して、基金は 200 億円程度まで積立ると聞いているが、基金積立てを優先せず、もっと地域に投資をし、活性化を図る施策が重要だと考えるが市長の見解を伺う。

- (2) 市長答弁の中で、「地域の均衡ある発展」という言葉をよく耳にするが、具体的にどのような地域を実現させようとしているのか。

2. 瀧瀬栄子議員

質問事項 1

国民健康保険税について

質問の要旨

- (1) 西海市では、世帯主の所得 200 万円、妻の所得 150 万円、子ども 2 人、固定資産税なしのモデル世帯で、現行の国民健康保険税の年額が 53 万 700 円という重い負担になっている。

国保運営協議会に諮問された平成 30 年度における税率改正案によれば、さらに 2 万 4,200 円引き上がることになる。

算定方式を 4 方式から 3 方式とし、資産割を廃止、医療分の所得割、医療分・後期高齢者支援分・介護分の均等割を引き上げる案では、減額となる件数が約 4 割、増額となる件数が約 6 割と試算されている。

今回の税率改正案では、長崎県に納める納付金額を超える国民健康保険税を徴収することになる。

再考すべきと考えるがいかがか。

- (2) 会社員等が加入する被用者保険においては、扶養する子どもの人数が増えても保険料は変わらない。

しかし、国民健康保険は、世帯内の加入者数に均等割保険税が賦課されるため、子どもの人数に応じて負担が増えることになる。

子育て支援の観点から、第 3 子以降の均等割を全額免除する自治体がある。西海市でも踏み出すべきと思うが、いかがお考えか。

質問事項 2

離島の急患搬送体制について

質問の要旨

西海市には、松島、江島、平島の3つの離島にそれぞれ国保診療所があり、島民の診察にあたり、暮らしを支えている。

また、緊急に島外への転院が必要となった際には搬送されているものの、島民からは心配の声が寄せられている。

海で隔てられ、救急車が直行できない離島における急患搬送の現状と迅速に救急医療機関に搬送できる体制の整備に向けた課題解決への対策について伺う。

- (1) 緊急度や状況に応じた搬送手段の確保と連携について伺う。
- (2) 搬送手段としての市営船「NEW松島丸」と「はやて」の体制について伺う。
- (3) 国保診療所の医師不在時などにおける関係機関との連携体制について伺う。

質問事項3

市道の補修・整備について

質問の要旨

西彼町小迎～杉崎線の市道には、段差が生じており、車両の運転中にハンドルをとられそうになるなど安全運転に不安の声が寄せられている。

平成11年度に小迎地区農業集落排水施設事業が行なわれており、その影響によるものか確認し、影響が確認された際には、市の責任において補修し、整備すべきと思うが、いかがお考えか。

3. 清水正明議員

質問事項1

公共施設等の適正管理の推進について

質問の要旨

- (1) 公共施設等の老朽化対策をはじめ適正管理を推進するためには、「公共施設等総合管理計画」の策定が必要と考えるが、本市における取り組み状況を伺う。

- (2) 国の新年度予算において、「公共施設等適正管理推進事業債」の対象事業及び地方交付税措置の拡充が計上されているが、本市の来年度予算にどのように反映されているのか伺う。
- (3) 防災拠点となる公共施設等の耐震化への本市の取り組み状況を伺う。
- (4) 新たな西海市障がい者計画へのパブリックコメントの募集がなされているが、本市における公共施設等のバリアフリー化への取り組み状況を伺う。
- (5) 港湾施設の管理について、係船の許可等、適正に運営がなされているか伺う。
(西海町瀬川港)

質問事項 2

空き家対策について

質問の要旨

- (1) 本市における「空き家」の現状と「空家等対策計画」の策定状況を伺う。
- (2) 空き家対策には、都市部での移住相談会等が重要と考えるが、本市の取り組み状況を伺う。
- (3) 県では、空き家対策について「長崎型移住促進空き家活用事業」を設けているが、本市における、この事業の活用や取り組み状況について伺う。

質問事項 3

各種選挙への投票率向上への取り組みについて

質問の要旨

- (1) 2月4日投票の県知事選挙における、本市の世代別投票率を伺う。
- (2) 今後の各種選挙における、投票率向上への取り組みを伺う。

4. 平井満洋議員

質問事項1

大串横浦地区立石墓地進入路について

質問の要旨

検証の進捗状況を伺う。

質問事項2

旧長崎オランダ村Cゾーンについて

質問の要旨

今後の活用をどのように考えているか伺う。

質問事項3

風早工業団地の企業誘致について

質問の要旨

進捗状況を伺う。

質問事項4

西海市炭化センターについて

質問の要旨

稼働期間15年、建設・管理運営費として約70億円をかける炭化施設は西海市にとって、プラスになっているごみ処理施設なのか伺う。

質問事項5

職員の時間外手当について

質問の要旨

12月定例会の際、見直す余地があるかのような答弁であったが、どのように考えているか伺う。

質問事項 6

税金滞納時の延滞金について

質問の要旨

上位法であろうと理解しているが、西海市独自の条例制定ができないものか伺う。

5. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

西海市内の医療体制の今後の見通しと対応について

質問の要旨

現在、西海市の医療機関は、旧町ごとに市民のかかりつけ医院がある。インフルエンザが流行している今の時期には、子どもから高齢者まで幅広い世代の方が、通院をされているが、朝早くから夕方、場合によっては夜までの長時間、診察にあたられている医師や看護師の方々のご苦労は計り知れない。

日頃より、市民も敬意と感謝の気持ちを持ち、もし、この先生がおられなければ一体どうなることであろうと心配するところである。

また、ご高齢の方々は、ご自身あるいは家族の自家用車のほか、中には公共交通機関であるバスやタクシーにて通院されている。現在、市内の医師の方々も、このような医療体制の中、ご高齢になられてきており、今後、診察を続けられる期間も限られてくるのではないかと心配するところである。

現在の医師が勇退をされた際、すぐに代替の先生が来られる体制であればよいが、そうならない場合も考えられる。市としてもあらゆる場面を想定した対応を政策として考えておく必要があると考え、次の事について質問する。

- (1) 前述のような想定をした場合の市としての、今後の対応策を考えているか。
- (2) 医師との協議等をする機会があったか。
- (3) 医師や看護師不足が将来見込まれる中、新卒者の養成校への進学あるいは資格取得のための制度が設けられているが、しっかりとPRできているか。

質問事項 2

市内に定住してもらうための住環境の整備について

質問の要旨

人口減少が進む中、市内に在住してもらうための政策はしっかりと進めなければならない。そのためには、あらゆる問題点あるいは改善点を是正しながら、その環境を整えていく必要がある。ついては、次の事について質問する。

- (1) 市外から市内に住居を移されたケースで、移住などの問い合わせがあり、実際に成果に至ったもののなかで、住居を建設し、市内に住居を建てられた方、市営住宅などに入居された方、空き家などを活用して入居された方の今年度の実績は。
- (2) 今後こうした、Uターン、Iターンの方々を受け入れる政策は。
- (3) 若い世代の方が結婚を機に、市内に住居を求めた場合、希望する地区の市営住宅には空きがなく、やむなく市外のアパートを借りて入居するケースをよく耳にするがこのような事例に対して市はどのような政策を考えているか。
- (4) 市内で、住居を建てたいと希望する方が、なかなか良い場所が見つからず、近隣の長崎市北部、佐世保市南部の土地付き一戸建ての住宅を購入するケースがある。このような事にならないよう市としてどのような政策を考えているか。
- (5) 自分の親や知り合いが所有する土地に、住居を建てようとしても様々な規制により建てられないケースがあると思うが、そうした事例への政策は。
- (6) 自分の親や知り合いが所有する土地に、住居を建てようとしても水道等のインフラ整備に経費がかかりすぎて、建設をあきらめるケースがあると思うが、こうした事例に対する経費の補助や政策はないのか。

6. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

幼児教育・学校教育について

質問の要旨

少子高齢化をはじめ、地域社会の課題は多く、サステナブルな地域形成を目指して官民総意で取り組んでいるなか、最も重要である後継者育成に向けた保育・幼児教育、学校教育について伺いたい。

- (1) 本市における子ども子育て支援制度の現状と子育てコンシェルジュの設置と活用について
- (2) 小学生の英語教育について、2020年に3・4年生から必修化、5・6年生で教科化されるが、これらに対する取組みと準備はどうなっているか。
- (3) 0歳から12歳までの幼児期から小学校児童期は個人能力が決定される重要な時期であるといわれているが、現在本市において能力向上に向けた具体的な活動がなされているか。

質問事項1

第2次（平成29年度～平成38年度）西海市総合計画について

質問の要旨

計画策定の趣旨と概要の中で、基本計画は平成33年度に、また、実施計画は毎年度見直しを行う「ローリング方式」により更新するとなっているが、地域の現状は厳しくなる一方である。

今後の取組みを伺いたい。

7. 内野繁樹議員

質問事項1

西海市人口ビジョン「2060年人口30,000人」について

質問の要旨

- (1) 人口減少・少子高齢化、この事は国内大多数の自治体が抱えている深刻な問題である。返せば、多数の自治体が知恵を絞り、この難題に対処していこうとしていると考える。

策定から 45 年後の目標ではなく、近々のものと捉え、より具体的な実行計画が必要と考える。現在、進められている施策について伺う。

(2) 人口減少に歯止めをかけ、人口 30,000 人を目指すならば、「安心して子育てが出来る」「安心して医療介護が受けられる」この事は最も重要な課題だと考える。

この事をふまえ、再々々度伺う。緊急・救急に対応できる公立医療機関を設置する考えはないか伺う。

(3) 前定例会においても同様の質問がなされたが、公営住宅の入居条件は現状に合っているのか。公営住宅法があると片付けられているが、一人でも定住者を増やしたいはずなのに、なぜ市民の「住みたい」を解決する策を提案出来ないのか伺う。

8. 永田良一議員

質問事項 1

道路の改良について

質問の要旨

(1) 西彼小迎横道～汐見線道路について

この道路は平成 18 年度と 28 年度に 2 回の改良がなされているが、農協農機センター前から農協育苗センター間の 200 メートルが未改良となっており、未だに交通事故が数件発生している状態である。

また、救急車などの緊急車両もこの道路を通るため、地元では安心できないとの声も多く聞く。早期に改良に取り組む考えはないか。

(2) 西彼上岳～母衣崎線について

田口酒店前の鰐淵橋と道路の取り付け不具合から、私有地を通らなければ通行ができない状態である。改良する必要性が高いと思われるが、いかがか。

質問事項 2

農業用給水場の整備について

質問の要旨

西彼大明寺川の上流にある農業用給水場について、危険性が高いとして改良願いも数回提出したが、未だに実施されていない。現在大雨によりコンクリート底盤が洗われ、空洞化している状況である。近隣農家から非常に危険であるとの声が多く、早期な対応が必要ではないか。

9. 田川正毅議員

質問事項 1

西海市の均衡ある発展について

質問の要旨

- (1) 杉澤市長は選挙公約、施政方針演説などで西海市の旧町ごとの特色に合わせ、均衡ある発展を目指すと発言されているが、各町の特色をどのようにとらえ、特色に合わせた施策を講じていくのか市長の考えを伺う。
- (2) 西海市発足以降における旧町ごとの人口の推移と今後の予測を伺う。

質問事項 2

旧瀬戸地区公民館跡地の利活用について

質問の要旨

今年度中に当該施設が老朽化により解体される。当該用地は大瀬戸町の中心部であり、大瀬戸町発展のためには、この跡地の利活用は極めて重要であると考え、市長の考えを伺う。

質問事項 3

長崎オランダ村の在り方について

質問の要旨

昨年6月定例議会の市長所信表明において、市長は「選挙戦の争点になったといえる旧長崎オランダ村跡地の今後の在り方」を取り組むべき課題としている。現状と今後の方針について市長の考えを伺う。

10. 杉山誠治議員

質問事項 1

市長の所信表明における政策課題の現状について

質問の要旨

昨年6月議会における所信表明の政策課題のうち、本市の状況と市長の考えを伺う。

(1) 女性の社会参加について

政策課題5「子育て支援・女性の社会参加」として「女性のさらなる活躍の場の創出を目指し、女性の事業設立のための基金創設も検討して参ります。」と決意表明されたが、本市の進捗状況を伺う。

(2) 林業の施策について

政策課題4「未来につながる農林水産業・商業観光業」に向けての抱負が述べられているが、林業については抱負が述べられていない。本市における林業の施策について伺う。

質問事項 2

地域間交流の推進について

質問の要旨

現在、西海市は、北海道の広尾町、そして宮崎県の西都市をはじめとしてさまざまな地域間交流がなされているが、さらに他の、日本国内、又海外の市町との交流を持つ意思があるのかを伺う。

11. 浅田直幸議員

質問事項 1

新年度の重点施策について

質問の要旨

杉澤市政2年目となる新年度の重点施策と、その施策を実現するための具体的な方策を伺う。

質問事項 2

高校生への補助制度について

質問の要旨

西海市内の高校への取組みとして、次のような補助制度を市として検討することができないか伺う。

- (1) 現在、自費で受験している試験（英検等）への補助ができないか。
- (2) 市内の高校へ入学し、アパート、下宿及び寮で生活する生徒へ、生活費の一部でも補助ができないか。

12. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

西海市の行政運営について

質問の要旨

- (1) 行政運営にあたっての市長の経営理念を伺う。
- (2) 杉澤市政 2 年目を迎えるにあたり、任期中市民の為にお約束できる、杉澤色の政策は何があるのか伺う。
- (3) 西海市の組織改編で新たに創設される、それぞれの部署において、市民の為になる主要な業務等を伺う。

質問事項 2

西海市の生活環境整備と利便性の向上について

質問の要旨

- (1) この冬の寒波による、水道管の破損、補修の現状と今後の水道インフラ整備計画を伺う。
- (2) 大島大橋、小迎交差点の渋滞対策、また、西海パールライン料金所の ETC 化への働きかけについて市長の考えを伺う。

質問事項 3

西海市の基地政策について

質問の要旨

- (1) 米海軍横瀬基地施設内の上水道使用量と、使用金額を伺う。
- (2) 米海軍L C A C基地受入時の約束（協定）と現状を鑑みて、今後の市としての政策等を伺う。

13. 中 里 悟 議員

質問事項 1

平成 30 年度本格予算について

質問の要旨

- (1) 予算規模と市長の最重要施策の具体的内容を伺う。
- (2) 人口減少対策に係る予算とその具体的施策について伺う。
- (3) 組織改編で4月から新たに西海ブランド振興部が創設されるが、現在の特産品の開発及び販売の状況と創設後の西海ブランド振興部での特産品開発、販売に関する具体的な計画について伺う。
また、昨年設立された地域商社「株式会社西海クリエイティブカンパニー」との連携について伺う。
- (4) 将来が見えない本市の基幹産業である農業の再構築を図るための施策について伺う。
- (5) 雇用創出が期待されている企業誘致の進捗状況と今後の計画について伺う。

質問事項 2

新庁舎建設に対する市長の考えは

質問の要旨

- (1) 新庁舎建設に関する市民アンケートを実施する考えはないか伺う。
- (2) 西海市庁舎建設検討委員会において、新庁舎建設に関する協議を進めるべきと

思うがいかがか。

- (3) 市長の所信表明で行政機能の集中を最小限に抑え、総合支所の機能を高める改革が必要不可欠とあるが具体的内容を伺う。
- (4) コンパクトシティのまちづくりに対する市長の見解は。

14. 田 崎 耕 太 議員

質問事項 1

教育政策の重点化について

質問の要旨

- (1) 平成 29 年第 4 回西海市議会定例会において、西海市青少年スポーツ振興基金条例が制定されたが、他面、学力向上に関する仕組みづくりについては、市長並びに教育長は、それぞれそのような考えを有しているのか。見解を伺う。
- (2) これまでの西海市の学力向上のための取組みをどう評価し、今後につなげていくつもりか。若年層の定住環境の整備の観点から伺う。
- (3) 西海市版学びの 21 世紀塾の開設を今後の検討課題とする考えはないか。
- (4) 平成 29 年第 2 回西海市議会定例会における市長の所信表明において、市長は市内高等学校の存続について述べたが、そのことに関する具体的かつ有効な施策について、所信を問う。

質問事項 2

新年度予算の編成にあたっての基本方針について

質問の要旨

- (1) 新年度予算の編成にあたっての基本方針について、所信を問う。
- (2) 市長の言う「均衡ある発展」とは何か。市長の現状認識と発言の真意を問う。